



[ハラル認証マークを取得]

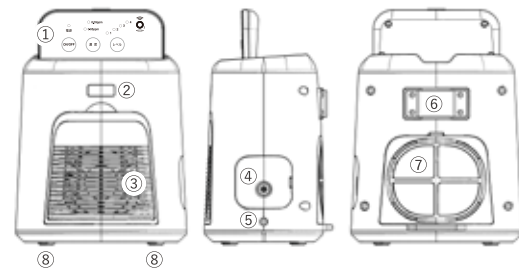
小型オゾン除菌・消臭器DeAlotは

ハラル認証マークを取得しています。

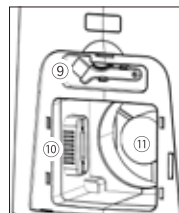
日本ハラル認証推進機構(JHCPO)により、
原材料・製造工程を調査・検査・監査・協議した上で、
この製品がハラルであることを宣言しております。

[仕様(本体)]

製品名	ディアロット
型式	TM-2.0C
オゾン発生方式	誘電体バリア放電方式
オゾンガス発生量	50mg/h
オゾン発生レベル	レベル1:10mg/h 4秒発生、16秒停止の繰り返し レベル2:20mg/h 8秒発生、12秒停止の繰り返し レベル3:30mg/h 6秒発生、4秒停止の繰り返し レベル4:50mg/h 連続運転
オゾン濃度設定	0.05ppm、0.09ppm
オゾン濃度センサー	OGS-01
近接センサー仕様	有効距離24cm±3cm(前面より反射のないこと)
消費電力	6.1W
定格入力	DC12V/0.5A
風量	最大50m ³ /h
使用温度・湿度	5～35℃ 80%RH以下(結露のないこと)
保存温度・湿度	-10～50℃ 20～90%RH以下(結露のないこと)
対応量数	4畳～50畳
質量	約1130g
外形寸法	パネル折りたたみ時:W195×D146×H218mm パネル直立時 :W195×D146×H269mm



- ①操作パネル
運転操作を行います。
- ②近接センサー
遮蔽物を感知します。
- ③吹出口
オゾンガスが放出されます。
- ④オゾン濃度センサー
室内のオゾン濃度を測定します。
- ⑤ACアダプタ差込口
ACアダプタを接続します。
- ⑥取付板
壁に設置する場合に使用する金具です。
- ⑦吸気フィルター
空気の吸い込み口です。
- ⑧ゴム足
- ⑨清掃ブラシ
発生体清掃用ブラシです。
- ⑩発生体
オゾンを発生させます。
- ⑪送風ファン
背面から吸気し、前面から吹出します。



DeAlot



ハラル認証取得 小型オゾン除菌・消臭器

2406C323253250



【販売元】

DePort 株式会社Deport

株式会社Deport(デポート)

〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社1丁目407番地
[東京営業所] 〒273-0005 千葉県船橋市本町2丁目3-1 滝一本町ビル6階
[大阪営業所] 〒573-1165 大阪府枚方市都丘町3-8 アカサス壱番館 101号室
[福岡営業所] 〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町1-9 宝州博多第一ビル4F

[許可番号] ・ハラル認証番号 2406C323253250
・医療機器製造業 23BZ200252
・第二種医療機器製造販売業 23B2X10047
・医療機器修理業 23BS200481

救急車への搭載で 隊員の安全を守ってきた実績 室内を安全に除菌・消臭 ハラル認証取得の 小型オゾン発生器です



オゾン[ozone]とは？

私たちの地球が誕生して約50億年、この星の生命を守ってきた「オゾン」
有害な紫外線の到達を防ぎ、生命の進化を助けてきました。

【オゾンの特性】

酸素から生まれ
酸素に戻る
★ ★ ★

地球が育む天然由来の
消毒・脱臭成分

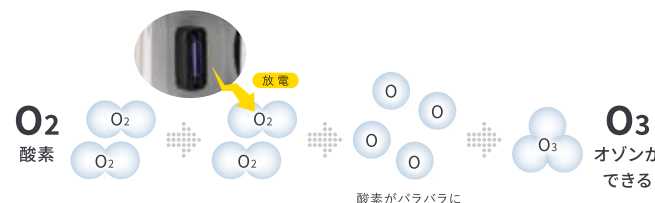
タムラテコの機器から生成されるオゾンは

- 原料が不要です。
- 菌やウイルスに耐性を発生させません。
- 使用後の残留物がありません。

オゾンの発生原理

誘電体バリア発生体搭載

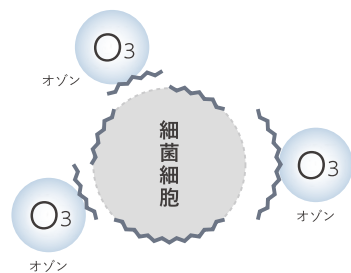
放電面を極薄のフラスコガラスで被膜し
オゾン生成時に発生する汚れなどを大幅に低減。
放電部分の清掃が簡単になりました。



オゾンの除菌・消臭のメカニズム

〔 菌・ウイルスを抑制 〕

オゾンの強力な酸化力が、菌・ウイルスの細胞壁を分解。
薬品ではないので、耐性菌が発生する心配ありません。

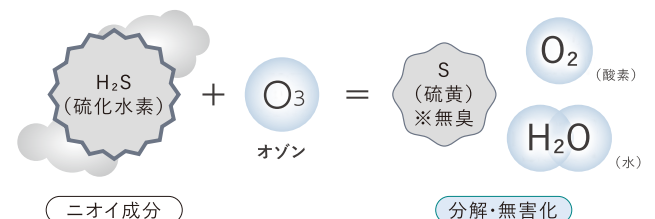


全国2600台以上の
救急車に搭載※
※前モデル



〔 臭いの元となる成分を分解 〕

加齢臭の元となるノネナールや、トイレのニオイ成分(硫化水素)も
オゾンが分解、快適な空気環境を実現します。



全国の救急車約2,600台以上に搭載 この国のエッセンシャルワーカーを守ってきました

初搭載は
2008年

新型インフルエンザウイルス感染疑い患者を
搬送した場合の感染防護を目的として
初めて搭載され、その後、全国の救急車の
約4割にタムラテコのオゾン発生器が
搭載された実績があります。



オゾンの安全な濃度を守る

オゾンの安全基準・ レギュレーションについて

日本・米国では、オゾンの人体への影響を考慮した環境
基準が設定されています。弊社では、この基準を順守し、
お客様の安全の確保に努めています。

	作業環境基準 日本産業衛生学会
許容濃度	
0.1ppm (0.2mg/m ³) 1963年	
労働者が1日8時間、週40時間程度、肉体的に激しくない労働強度で有害物質に曝露される場合に、当該有害物質の平均曝露濃度がこの数値以下であれば、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響がみられないと判断される濃度。	

	室内環境基準 アメリカ合衆国 食料医薬品局 (FDA)
最大許容濃度	
0.05ppm (24時間) 1992年	

室内オゾン濃度をコントロール



側面オゾン濃度センサー
環境オゾン濃度が0.05ppm/0.09ppmに
なると、オゾン発生を自動停止
(設定により変更可能)

ご使用者の安全を守りながら、菌やウイルスを低減

小型オゾン機器として欲しい機能を全て搭載

◆近接センサー搭載…①

人が至近距離に近づくと、オゾン発生を停止する安全機能

◆濃度制御…②

0.05ppm/0.09ppmになるとオゾン発生を自動停止

◆オゾン発生レベル…③

オゾンの発生量を部屋の広さに応じて調節

◆コニカミノルタ製(日本製)

コニカミノルタメカトロニクス
最先端工場にて製造。
最高の品質を実現しました。

